

平成29年度の研究成果をご活用ください

プロジェクト研究の部

小・中学校	道徳科	主体的に考え、他者と本音で語り合う「考え、議論する」道徳の実現を目指した授業づくり —児童生徒の問題意識を大切に学習を通して—
小・中学校	学ぶ力向上	授業分析と授業づくりの往還による児童生徒の資質・能力の育成 —主体的・対話的で深い学びに迫る研修プログラムの構築を通して—
小・中・高	理科	児童生徒の学びの姿から「深い学び」の実現を目指す理科の授業づくり —小・中・高等学校、校種を越えた実践交流を通じて—
全校種	ICT活用	ICT活用による協働・双方向型の学習活動のあり方 —「学びのデザインマップ」の開発を通して—
全校園種	特別支援	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援をつなぐ校園間の有機的な連携のあり方 —保育・授業における子どもの姿を通じた教員の気付きを基に—

小学校派遣研究の部

小学校	研究員派遣による 学校支援	小学校国語科の学びの力が高まる学習評価の工夫 —学習評価シートの活用を通して— 数学的に考える資質・能力を育成するための小学校算数科の授業の手立てと評価の工夫 —数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して—
-----	------------------	--

課題研究の部

幼稚園・認定こども園・小学校	幼小連携	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた小学校入門期への円滑な接続に関する研究 —言葉による伝え合いを軸とした学びを育む「幼児の遊び・児童の学び—ジョイントブック」の作成を通して—
小学校	情報教育	小学校におけるプログラミング教育のあり方 —プログラミング的思考を育む授業パッケージの開発を通して—
中学校	理科	科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指した中学校理科の授業改善 —「レディネス学習」を取り入れた科学的に探究する学習活動の充実—
	特別支援	中学校知的障害特別支援学級における自己理解を育むキャリア教育 —「振り返りと目標設定」を「きらりアップタイム」と「キャリアカウンセリング」で深める自立活動の実践—

平成29年度「第60回 研究発表大会」

2月16日(金)に、研究発表大会を開催しました。県内外から、多数の教育関係者の方にご参加いただきました。

研究論文(第60集)を各校にお届けします。ぜひ、ご活用ください。

教育学習情報が役立ちます

研究成果	指導案・実践事例
デジタル教材・素材	各学校園の研究紀要
全国学力・学習情報開示資料	滋賀県教育委員会作成資料
その他の資料	リンク集

教育学習情報(研究、教材など)をご活用ください。日々の実践に生かせる様々な情報をご覧いただけるほか、検索機能もあります。この所報もダウンロードできます。

特別支援教育相談について

発達障害等による学習や行動上の困難がある子どもに関する相談について、専門の相談員が応じます。

- 対象…本人(幼児・児童・生徒)、保護者、教職員等
- 方法…来所相談、電話相談
- 相談日…月～金曜日(祝日、年末年始等を除く)
- 相談時間…9:00～12:30
- 連絡先…TEL 077-588-2505(教育相談専用)
- 13:30～16:30

市町・学校園で研究成果を発表します

市町・学校園での研修会等において、センター所員が研究成果を発表します。センターHPをご参照のうえ、活用したい研究がありましたら、下記までご連絡ください。

TEL 077-588-2311 FAX 077-586-0011 学ぶ力向上係まで

教育の情報化推進事業をご活用ください

Webサイトの情報を、校務に活用しようと思えます。

機器を単に使うだけでなく理解すること、授業者のアイデアの大切さが分かりました。

情報モラル教育の実践を積んでいきたいです。

インデントの使い方がよく分かりました。

市町を対象としたサテライト研修や各校で実施される研修会に講師を派遣します。

- ◆情報セキュリティ向上・情報モラル教育の推進
- ◆授業におけるICTの有効活用
- ◆スキルアップ!コンピュータ操作 など

研修内容や構成は、ご要望に応じることも可能です。

図書資料室より

教育関係の本や資料を閲覧したり、借りたりすることができます。どうぞ、ご利用ください。

志 苑

滋賀県総合教育センター所報
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL 077-588-2311 FAX 077-586-0011
http://www.shiga-ec.ed.jp/

平成30年 2月

Vol.134



考えさせる授業+家庭学習→確かな学力の向上

次長 猪田章嗣

滋賀県では、観光振興や地域活性化などにつながるため、自転車などで琵琶湖を一周する「ビワイチ」を推奨していますが、私は今年度、ウォーキングでのビワイチに参加し、まもなく琵琶湖一周を達成できそうです。琵琶湖とその奥に広がる山々の景色を眺めながら、毎回20km程を歩きます。他府県からも多くの方が参加しておられますが、滋賀の豊かな自然や史跡・観光地等を楽しみながら巡るので、数あるウォーキング・イベントの中でもこの「ビワイチ」は格別ようです。私も改めて滋賀の魅力を再発見し、身をもって体感しているところです。

さて、ここ近年、急速に社会が変化し、瞬時に大量の情報が手元に届く時代になりました。以前は、標準化された知識を効率よく身に付け、社会に順応していくことが求められてきましたが、これからは、知識を活用して新しい未知の課題に試行錯誤しながら対応していく力が求められます。「この先さらに時代が変化したら、今学校で教えていることが通用しなくなるのでは?」という危惧から、これからの学校教育では、子どもたちが様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、自分たちの生きる社会の未来をどう描くかを考え、多様な人々と協働的に課題を解決していくための資質・能力を育成することが必要であるといえます。

平成29年3月に幼稚園・小学校・中学校、4月に特別支援学校の新しい学習指導要領等が公示されました。高等学校についてもまもなく公示される予定です。今回の「改訂のポイント」の中で、知識の理解の質を高め、これからの時代に求められる資質・能力を育てていくために、これまでの教育実践の蓄積をしっかり引き継ぎつつ、「主体的・対

話的で深い学び」の実現に向けて授業を工夫・改善する必要があると示されています。

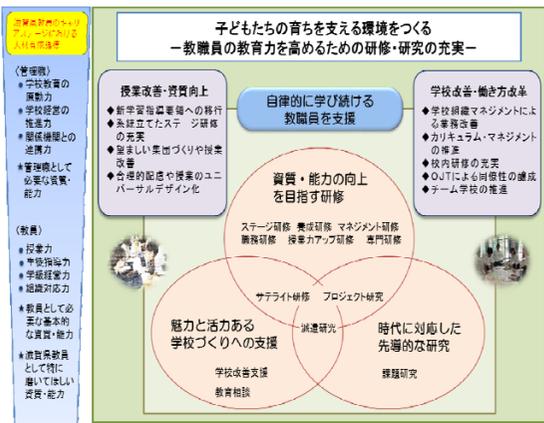
我々教員がこれまでから授業づくりで大切にしてきたことの中に、「考えさせる授業」があります。各々の授業の中でいかに子どもたちに「考えさせる」か。そこに迫る新たな視点が「主体的・対話的で深い学び」であり、手法が「アクティブ・ラーニング」ということではないでしょうか。いくらかりやすい授業をしても、子どもたちがその授業で考える場面がなければ、学ぶ力が付くとは思えません。授業の中でどうやって「考えさせる」のか。そして「深い学び」へと導くのか。ここがファシリテーターとしての教師の腕の見せどころです。

一方で、学校での授業だけでは、それ以上学力は伸びません。何より本人自身が、自分で勉強しなければ。本当に学力を伸ばさせるには、「考えさせる授業」に加えて「家庭学習」を仕組むことが必要不可欠です。「家庭学習」の習慣をしっかりと身に付け、学校の授業で深く考えたり思いを表出したりする。このサイクルが充実して初めて、「確かな学力の向上」が実現していくのではないのでしょうか。

授業が変われば児童・生徒が変わる。児童・生徒が変われば学校が変わる。教育の不易の部分の大事にしながらも、これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、まずは授業改善に取り組んでいくことが、我々学校教育に携わる者の使命であり責任だと思えます。総合教育センターは、これからも学び続ける教職員の皆さんを支援して参りますので、未来を担う滋賀の子どもたちのために、ともに頑張っていきたいと思います。

総合教育センターは自律的に学び続ける教職員を支援します

子どもたちのたくましく生きる力を育む



子どもたちの育ちを支えるために、教育力を高める研修・研究を通して、これからの学校教育を担う教職員の質・能力の向上を目指します。

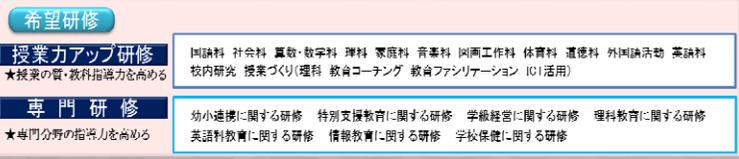
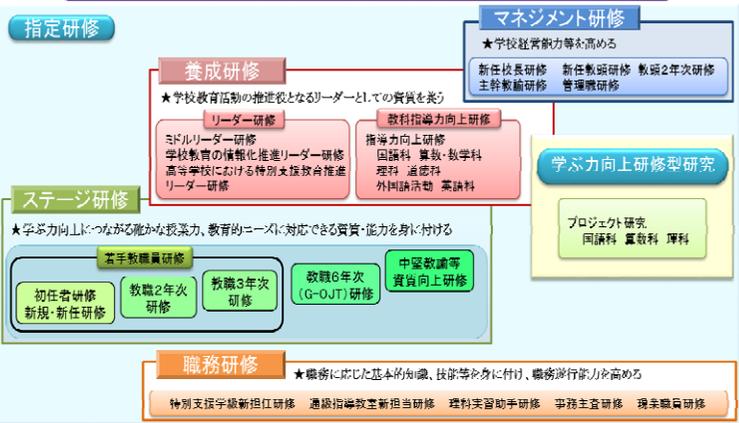
【2つの柱】
◎授業改善・資質向上
◎学校改善・働き方改革

【キーワード】
☆質・能力の向上を目指す研修
☆魅力と活力のある学校づくりへの支援
☆時代に対応した先進的・先導的な研究

詳しくは、研修・事業案内をご覧ください。

平成30年度 滋賀県総合教育センター 研修体系図

自律的に学び続ける教職員を支援 —子どもの学ぶ力の向上を目指して—



子どもの学ぶ力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた質・能力の向上を目指します。

指定研修 協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。
☆ステージ研修 ☆養成研修 ☆マネジメント研修 ☆職務研修
★学ぶ力向上研修型研究

希望研修 個々のニーズに応じて、専門性を高めます。
☆授業力アップ研修 ☆専門研修

平成30年度 子どもの確かな学ぶ力を育むための研究事業

国の動向、県の課題を見すえた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援する

学校に寄り添った研究 実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援する

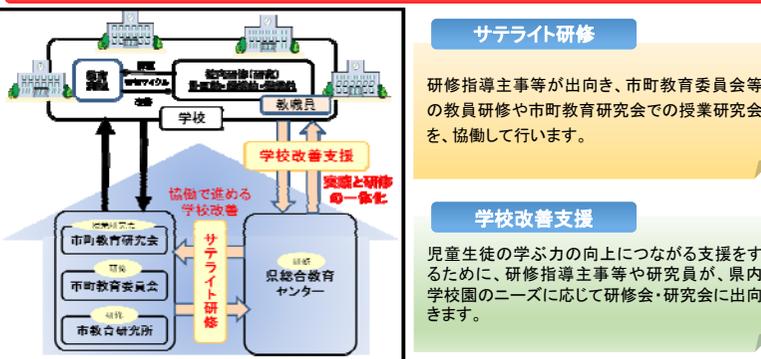
プロジェクト研究: 研修と実践の往還による実践力の向上をめざす授業改善研究を実施する

派遣研究: 研究員が毎週1日派遣校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施する

課題研究: 喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施する



平成30年度 質の高い学校支援事業



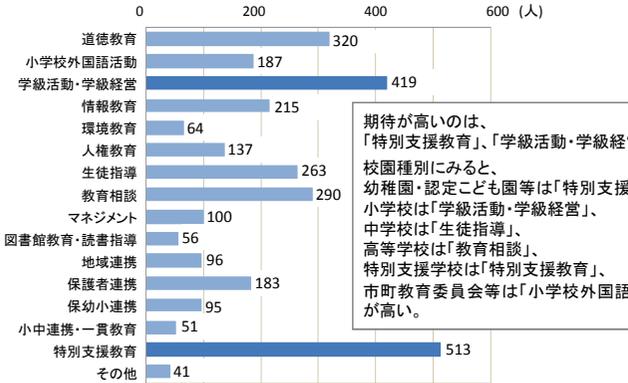
平成29年度 「センター事業にかかるアンケート」結果 《抜粋》

※詳細はHPへ

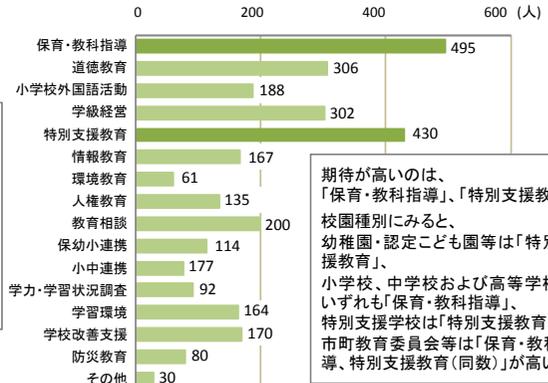
県内の幼・小・中・高・特別支援学校等、市町教育委員会および教育研究所等の教職員を対象に、総合教育センターの事業に関するアンケートを実施しました。いただいたご意見を今後の運営に生かします。

実施時期:平成29年8、9月
回答数:1,379人
ご協力ありがとうございました。

保育・教科指導に加えて、どのような内容の研修を受講したいか(複数回答)



どのような分野・内容の研究を進めていくべきか(複数回答)



学校改善支援(出張支援・出張発表)にどのようなことを期待するか(複数回答)

